

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月14日更新

事務事業名		民生・児童委員活動事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	後藤 章博
	施策	6	社会福祉の推進			所属課	福祉課	担当者名	小林 弘和
	施策の柱	23	地域福祉の推進			所属班	社会福祉班	(内線)	1155
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 1	事業連番 10546	根拠法令	民生委員法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 合志市民生委員・児童委員協議会連合会へ補助金を支出し、補助金は東部民児協議会・西部民児協議会それぞれに分配される。補助金は両民児協の活動費として利用される。 随時の委員交代に伴う民生委員推薦会を開催し、国県への事務手続きを行なう。併せて、任期3年の委員改選の手続きを行なう。(次回一斉改選は令和4年12月予定) 市民生委員児童委員協議会(東部・西部)の定例会や役員会へ出席し、民生委員活動の状況把握と相互の情報共有を図る。
【業務の流れ】	①合志市民生委員・児童委員協議会連合会から事業承認申請書を受領②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受領⑤補助金の交付決定、通知⑥概算払申請書を受領⑦補助金の交付⑧実績報告書を受領⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による)⑩県補助金申請事務⑪協議会定例会、役員会への出席 ⑫民生委員推薦会の開催及び委員任命に関する事務手続き
【主な予算費目】	報酬・旅費・補助金
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> 協議会からは補助額を減額しないでほしい、増額を行ってほしいとの要望がある。 民生委員に対して無理な要望をする市民もあり、担い手の減少に拍車をかけているところもある。 民生委員が選任されていない地域の早急な選任が望まれている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	民生・児童委員の活動に対し補助金を交付し、東部及び西部役員会・定例会・部会に出席した。また、欠員及び交代のあった地区について、民生委員改選の手続きを行った。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 民生・児童委員の活動と関係団体との連携・協力を支援する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ア: 定例会開催回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
①民生委員児童委員協議会②民生委員児童委員	→ア: 民生委員児童委員数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
①民生委員活動を円滑に行える②民生委員活動を円滑に行われるように、その活動に必要な知識を入手できる	→ア: 相談・支援件数	件
	→イ: 延べ活動日数	日
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
必要な知識を入手することで、より多くの相談等に応じることができる。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア	回	24	22	24	16	24	24	24	24
	イ									
② 対象指標	ア	人	91	93	98	94	98	98	98	98
	イ									
③ 成果指標	ア	件	2,306	2,216	2,000	2,146	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ	日	17,290	16,623	16,000	14,832	16,000	16,000	16,000	16,000
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	424	424	464	464	464	464	464
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	9,316	9,610	10,101	8,712	10,101	10,101	10,101
		(A) 事業費計	千円	9,740	10,034	10,565	9,176	10,565	10,565	10,565
		(A)のうち指定経費	千円	41	148	78	48	78	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	4,533	4,438	2,390	3,824	2,390	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	1,150	1,120	600	970	600	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	14,273	14,472	12,955	13,000	12,955	10,565	10,565	10,565	

事務事業名	民生・児童委員活動事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 西部・東部とも定期総会や役員会、定例会に出席できた。また、多くの活動や相談支援が行えた。また、避難行動要支援者に伴う各地域での情報収集や地域との連携、特に、市防災訓練時の避難行動要支援者訓練でもご尽力いただき、地域との円滑な連携が図られた。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 今後も定例会、総会に出席し、民生児童委員や関係機関との連携を図り、地域の課題に取り組んでいく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 民生児童委員の活動は現在も十分になされているが、相談内容複雑多岐にわたるため、負担感を覚えている方もいる。地域の支えがある中で活動ができる環境を作ることで、成果はさらに向上する。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 民生委員法に基づく事業であるため統廃合・連携の余地はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 民生委員法に基づく事務であるため事業費の削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人数で行っているため削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 民生委員法に基づく事務であり、市民全体を対象にしているため適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 民生委員法に基づく事務であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

今年度も各種研修を行い、円滑な活動が行えた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						